

おお大勝利

平成 28 年度山東サッカー部報第 18 号 (11 月 11 日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

一年生大会初戦惜敗！

11月3日(木)村山地区1年生大会(矢田部杯)の初戦が行われました。初戦と言っても、3試合しかない一番小さな山で、**0回戦とでも言うべき試合**。顧問今野は、公式戦の合間のここしかない祝日ということで私事ながら5歳の長男の七五三の行事を入れてしまっており、村山地区顧問会の厳正な抽選にて11月5日・6日の1年生大会本会期の前の11月3日に初戦があることになり、大慌て。「ここは2年生に臨時監督をさせて乗り切るしかない」と決意。そのように伝え、準備しておりました。

今年の1年生、入部段階では11名の選手のみでスタート。途中から、マネージャーとしてシナが他の部と兼部で入部してくれて、大助かり。12人で途中まで来ました。ですが、**ミヤガワことササキ¹**が不運にも夏の苗場遠征にてボールが顔に当たり眼を負傷してしまい、回復したもののもう一度同じ衝撃があると失明の危険性があると医者から告げられ、大変残念にも選手としてフルにプレーすることはできなくなった²。ミヤガワ、通常の練習では、ボールが顔に当たったり体を激しくぶつけあう練習には混ざらず、マネージャー業をしてくれている。また、**新ヨーティことヨウタ**が9月に退部を申し出た。顧問がなんとかなだめて休部扱いで結論を先延ばしにしたが、**結局9名で1年生大会に臨まなければいけないことになった**。「3年前(山東66回卒タイチの代)の1年生大会でも9名で臨み、初戦山南戦を突破し、優勝したモンテユース相手に先制し、残り10分くらいまでは勝っていた過去もある³。諦めてはダメだ」と1年生には伝えていたものの、やはり苦しい。「ヨーティを1年生大会だけでも戻して一緒にやったら？」と1年生にけしかけておりました。すると、ヨーティもその意志があるらしい。「そうか、9人と10人ではかなり違う。七五三で観れはしないが、楽しみになってきた」と感じておりました。そのヨーティ、2年生の首都圏研修(10月18日～20日)中の1年生のみの練習は参加。

さて、その1年生大会初戦。**相手は山形城北B**。今野が観ていないので、**監督代行を務めた2年ベジータことイシハラがレポートを書いてくれました**ので、どうぞご覧ください。

11月3日(木)1年生大会初戦、山形城北B戦が山形明正Gで行われた。ピッチは雨の影響でややスリッピーな状態。風も吹いていて肌寒く感じられた。

ベンチには、**清野総監督、志村先生、齋藤GKコーチ、監督代行ベジータ、ヘッドコ**

¹ ササキの名前が和将(カズマサ)なのですが、音読みしてワショー ⇒ 吉本所属の「わっしょい芸人」宮川大輔 ⇒ 宮川 という変遷で、ミヤガワとのあだ名がつけました(つけたのはnot今野but2年生)。

² ヨシタカの代(山東64回卒)のサブちゃんと同じ症状でしょうね。

³ その後2失点し痛恨の逆転負け。

一千の2年カンタと生徒会を恋愛の場と勘違いしているハレルという、万全の体制で試合に臨む。

11:00 キックオフ。ミヤガワがフルに出場できないので、前半は10名で戦う。そのため監督としては2失点以内で帰ってきてくれと思っていたが、みんないつもまして調子が良く、何度かヒヤッとするようなシーンがあったが、GK ホタテとDF ラインを中心に守り抜き、無失点。攻撃面ではタカヒラのFKなどでゴールに迫るものの点を奪えず。結局0-0で前半終了。内容的には悪くなく、後半に期待が高まる。

後半開始と同時にミヤガワを投入。これで右サイドミヤガワ、左サイドヤマサンと、両サイドが足の速い選手になったので、サイドを突破するシーンが増えてきた。サイドからの攻撃が増えてくると前半はボールを持てていなかった中盤の選手たちがボールを持てるようになってきた。すると1年生だけといるときは本性を見せるというこの日キャプテンのフトシがミドルシュートを放つ。これはネットを揺らすことができなかったが、これを機に城北ゴールを攻め立てる。がしかし、なかなかゴールを奪うことができない。そんな時間が続くと、だんだんと城北にボールを持たれ始める。FW のバサシとババはもうへろへろな状態。「あいつ体力なさ過ぎだろ」とベンチで話していると、そのバサシにビッグチャンスが訪れる。裏に良いボールが出されて、そこにバサシが飛び出している。1度はGKにキャッチされるもののボールをこぼしてバサシの下へ転がってくる。しかし、それを決めることができない。さらに試合終了間際、ミヤガワがシュートのこぼれ球につめて絶好のチャンス。しかしまたもや決めることができず。そのまま両チームスコアレス試合終了し、PK戦へ突入。結局、4-5で負けてしまった。

この試合は11人みんな非常に調子が良く、特に後半はチャンスを多く作っていたため結果が非常に悔やまれる試合となってしまった。また、それと同時に、山東の決定力不足がはっきりとあらわれた試合であった。これは2年生にも言えることだが、やはり山東はチャンスを多く作れるようなチームではないので、少ないチャンスをものにできるかどうかというのはとても重要になってくる。そうは言ってもこの試合、1年生はとても良く頑張っていた。また、1年生の成長が感じられた。特にいつもニヤけているバサシはボールを収められるようになってきていて、今回この試合ではミスもあったが攻撃の面でそれなりの活躍を見せていた。しかし実力的にはタカヒラたちのように県リーグや新人戦などで試合に出ている選手たちにはまだ及ばないので、今回の試合を境にさらに熱心に練習に取り組んでもらいたい。

会場に足を運んで頂いた保護者の皆さま、ご声援ありがとうございました。

このレポートにあるように、1年生、熱い試合を繰り広げてくれたようです。ミヤガワは、「最後5分くらい、思い出に出してやったらいいんじゃないか」とは2年生に言っておりましたが、背に腹は代えられない1・2年生の強い思いが後半丸ごと投入という起用になったようです。ミヤガワ、慎重にね。また、うれしいことに、「この試合だけでは終われない」という思いから、ヨーティが復帰(退部撤回)してくれることになりました。ヨーティ、やはり消すことのできなかつたサッカーへの熱い思いを、今後発揮してくれたまえ。

次戦はいよいよ今シーズン最後の大会となる県新人戦です。応援よろしくお願ひします。

**11月19日(土) 県新人1回戦 米沢中央戦 14:30~ @米沢人工芝 SF 東
それに勝つと**

11月20日(日) 県新人2回戦 城北と鶴東の勝者 13:00~ @同上西